

## 1年の豊漁を願って



1月4日(月)地方卸売市場で初競りが行われました。

昨年は、主力魚種である秋サケ漁やイサダなどの不漁に加え、新型コロナウイルスの影響が大きく、水産業全般に支障をきたすなど大変厳しい1年となりました。

しかし、昨年仙台市内を中心とした飲食店コラボカフェでは、当町の水産物をご堪能いただいた飲食店の皆さまや利用客から高い評価をいただいております。今後も「新鮮で安全・安心」と消費者に感じていただけるよう、販路拡大に向けて取り組んでいく予定です。

当日は、多くの仲買人の皆さんが集まり、豊漁を願った活気のある競りの掛け声が市場場内に響いていました。

## 百寿のお祝い 三浦たみさん(歌泊浜)

12月29日に百寿を迎えた三浦たみさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

たみさんは、食べ物の好き嫌いが無く、お魚よりは肉が好きだそうで、それがご長寿の秘訣なのでしょう。

昔から明るい性格で、海苔養殖など海の仕事をしたり、畑仕事をしたりと、とても元気なお母さんだったそうです。

たみさんは、お子さんが5人、お孫さんが11人、ひ孫さんが16人いらっしゃるそうで、ご家族もご長寿を喜んでいることでしょう。

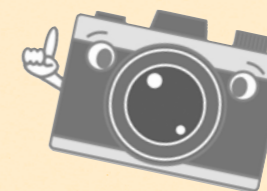
たみさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。



## 広報担当からのお知らせ

この広報2月号は、1月20日現在の情報です。新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、この号でお知らせしているイベントなどが中止や延期となる可能性があります。

その際は、町HP、防災行政無線やフェイスブックなどでお知らせしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。



みな  
レポ

## イオンエコワングランプリ文部科学大臣賞受賞!



高校生の優れたエコ活動を表彰する「イオンエコワングランプリ」の普及・啓発部門で、志津川高等学校自然科学部が、「文部科学大臣賞」を受賞しました。

同校は、「故郷の豊かな自然を守ろう!東日本大震災による工事影響評価」というテーマで、2017年から八幡川河口の干潟で生物調査を行い、県が干潟保全などを目的に行った導流提工事中に、干潟に河川水が入らなくなったことが、生物に与えた影響などをまとめました。また、

自分たちの調査を基に、自然豊かな環境を次代に伝えるため、小中学生向けの図鑑を作成したり、出前授業も行っているとのこと。

生徒からは、「地域の人はもちろん、県内外の皆さんに南三陸町の自然環境の素晴らしさを伝えていきたい。また、新種の生物を見つけていないので、ぜひ見つけてみたい」「今後は、山や野草など生物以外の幅広い調査を行いたい」など意気込みを話されていました。



## 安全祈願祭が執り行われました



1月12日(火)「南三陸町道の駅・震災伝承施設等新築工事安全祈願祭」がさんさん商店街隣の建設予定地にて執り行われました。

今回建設する建屋は、鉄骨造2階建、延床面積1,417㎡で、建屋内には震災伝承、観光交流および交通拠点施設を整備し、外構には駐車場など公共交通ターミナルも整備する予定です。

設計をした建築家の隈研吾氏は、「南三陸町の震災からの10年の歩みを世界と未来に繋げるための船をイメージして設計した。建物の真ん中に空いている穴が鳥居の役割となり色々なものを繋ぐ」という。

復興事業の締めくくりとなる道の駅が、新たなランドマークとして、また、復興のシンボルとして、多くの皆さまにご利用いただくことが期待されます。

## 年の瀬恒例イベント「志津川湾おすばでまつり福興市」

12月29日(火)志津川湾おすばでまつり福興市が志津川仮設魚市場で開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できるかどうか不安もありましたが、感染症対策として、入場する際に消毒と検温を行うほか、飲食スペースを無くし、テイクアウトのみの販売とすることで、無事開催することができました。

当日は、地元でとれた新鮮な海産物を求めて多くの買い物客でにぎわいました。

今後も、「新しい生活様式」に合わせた方式で、ご来場のお客様にもご協力をいただきながらイベントを運営していく予定です。

